



新年あけまして、おめでとうございます。今年も毎年恒例のひな人形の展示を開催いたしますが、久しぶりの公開となる享保雛を展示します。併せて埴輪パネル展も開催しますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度収蔵資料展

江戸・明治・大正を彩るおひなさま

2/13(金) ▶ 3/22(日)



享保雛（江戸時代後期）



次郎左衛門雛（江戸時代後期）



内裏雛（明治42年）



源氏粹御殿（大正4年）

ひな祭りは、江戸時代に武家や公家の大切な年中行事として執り行われ、江戸時代に地方代官を務めた森村家（市内連取町）の享保雛と豪華な雛道具が伝わっています。明治時代後半から大正期になると、市内の裕福な農家や商家でも雛人形を購入して華やかに飾るようになり、中には高価な市松人形も雛人形と一緒に飾った家もあったようです。

本展示では、江戸時代には武家や公家の重要な年中行事であったひな祭りが、明治時代後半から大正時代にかけて、次第に庶民の年中行事へと普及していく変化を、江戸・明治・大正期の雛人形で紹介します。

令和7年度パネル展
写真で全員集合！！

伊勢崎出土の重要文化財埴輪

2/13(金) ▶ 5/31(日)

伊勢崎から出土した9体の重要文化財の埴輪！

群馬県は、国宝・重要文化財に指定される埴輪の全国4割を占め、「日本一の埴輪県」であることを名実ともに示しています。その中でも、伊勢崎市から出土した埴輪は9件にも及び、全国の自治体の中でも全国一を誇る事実はまだ知られていません。本展示では、現在そのほとんどが県外に所在する伊勢崎市出土の重要文化財の埴輪9点をパネルやスライドで紹介し、全国に誇る伊勢崎市の埴輪の世界を発信します。



▶ 埴輪男子立像（相川考古館所蔵・写真提供）



◀ 埴輪女子立像（東京国立博物館所蔵）



◀ 埴輪男子立像（九州国立博物館所蔵）



◀ 埴輪鶏（群馬県立歴史博物館所蔵・写真提供）



◀ 埴輪猪（東京国立博物館所蔵）



◀ 埴輪鹿（九州国立博物館所蔵）

みんなー
ひさしぶりだね

ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜祝日は翌日）・年末年始 1月は1～5日、13日、19日、26日が休館日

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分） 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030 FAX 0270-63-0087 E-mail: siryokan@city.isesaki.lg.jp 入館無料